

計画の名称	平塚市都市公園整備計画											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	平塚市											
計画の目標	<p>都市公園等の社会資本はその機能、役割のほか、災害時の避難や物資運搬の拠点等重要な役割も担っている。しかし、多くの施設は老朽化が顕著で、通常の利用に支障をきたす恐れが高まっているのが現状である。</p> <p>それらの社会資本を長寿命化計画を基に、危険度重要度の高いものから順次整備し、市民の安全・安心を確保する。</p> <p>また、ユニバーサル遊具の設置や親子で休憩できるスペース等、多様な世代の集いの場となる環境づくりの推進を通じ、様々な人や世代が、安心して自然に交流できる公園の整備を進める。</p> <p>さらに、湘南海岸公園内に、龍城ヶ丘ゾーンに整備する公園、ビーチパーク、漁港の3つのエリアを結ぶ園路を整備することにより回遊性を向上させ、各エリアの魅力を発信し、海岸エリア全体の魅力アップを図る。</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,823	A	1,823	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R5末)
1	公園施設長寿命化計画に基づく対策を実施し、長寿命化対策済の施設の割合を0%から4%に増加させる。 総合公園長寿命化対策済施設率 (平塚市総合公園長寿命化対策済施設数 / 平塚市総合公園長寿命化対象施設数) × 100%	0%	2%	4%
2	子どもやその親世代の利用者を100人/日(整備前)から200人/日(整備後)に増加させる。 子どもやその親世代の利用者数を測定する	100人/日	150人/日	200人/日
3	市民一人当たりの公園面積を5.53㎡/人から5.54㎡/人にする。 市民一人当たりの公園面積を5.53㎡/人から5.54㎡/人にする 都市公園面積 / 都市計画区域内人口	553㎡/100人	㎡/100人	554㎡/100人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	60	35	42	23	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	60	35	42	23	
前年度からの繰越額 (d)	0	60	0	42	
支払済額 (e)	0	95	0	42	
翌年度繰越額 (f)	60	0	42	23	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 平塚市都市公園整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標が明瞭でわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 要素事業の相乗効果等、十分な事業効果を得られることが見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性。	○
I. 目標の妥当性 住民、民間等の活動・関連事業との連携による事業効果発現の確実性。	○

参考図面

計画の名称	平塚市都市公園整備計画	交付対象	平塚市
計画の期間	令和元年度 ~ 令和5年度 (5年間)		

